

GTBバイオイノベーション推進拠点(2025)

5. 川崎エリア

羽田空港直結のキングスカイフロントなど、研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション都市



殿町・羽田再生医療拠点(CReM TONOHANE)始動(2024年)



島津製作所 新拠点 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 開設(2023年)



iCONM in collaboration with BioLabs(2022年) などインキュベーション施設が複数集積

3. HOTS HILL

(本郷・御茶ノ水・東京駅エリア)

GTB域内最大のアカデミア集積地で、東大・東京科学大・製薬協がリードしてアカデミアと産業界をつなぎ、エコシステムとスタートアップの育成を加速



東京科学大誕生ベンチャー累計創出数174社(2023年)



東京大学アントレプレナーラボ東大関連ベンチャー累計創出数577社(2023年)



WE AT CHALLENGE 開催「WE AT」を設立し新しいエコシステムを開始(2024年)

4. 日本橋エリア

バイオ・製薬産業が集まる国際的ビジネス拠点と、研究・臨床・情報開発連携機能の集積



国立がん研究センター国内外のTR研究の発展に寄与(2024年)



日本橋ライフサイエンスビルシリーズ同領域のベンチャー企業やVC、関係団体等が220社超集積(2024年)



三井リンクラボ新木場シリーズベンチャーから大手まで入居可能な研究施設を3棟新設(2024年)

1. つくばエリア

筑波大学および多様な国研および企業研究機関等の集積をいかした我が国最大の世界的サイエンスシティ



つくばデジタルバイオ国際拠点の始動(2021年)



T-CReDO Research Studio AMED「大学発医療系スタートアップ支援プログラム(SU拠点)」開始(2024年)



アステラス製薬のインキュベーション施設SakuLabTM 始動(2023年)

6. 横浜エリア

産学官金が連携し、健康・医療分野のイノベーションを持続的に創出するグローバル拠点都市



中外ライフサイエンスパーク横浜(2023年)



AGCのバイオ医薬品 BioJapan CDMO拠点(建設中)アジア最大級に発展



アジエントバイオファーマ

7. 湘南エリア

世界最大級のライフサイエンス研究施設を核に、隣接病院や周辺地域とも連携する、製薬企業発の産官学医オープンイノベーション拠点

・エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン デュアルユース予算獲得(2023年)
・韓国省庁と連携した韓国スタートアップ8社の入居(2024年)



湘南ヘルスイノベーションパーク

2. 柏の葉エリア

NCC等のアカデミアの集積、生活基盤が充実、異分野・公民学が共創する文化のあるスマートシティ



NCC主導で新規医療系シーズ支援プログラム開始(2024年)



帝人Gが再生医療のCDO拠点を稼働(2024年)



三井不動産の賃貸型ラボが2棟着工(2024年)

8. 千葉・かずさエリア

植物・免疫医療等の最先端ゲノム研究及びバイオものづくり等の研究推進拠点



Green Earth Institute バイオファウンダリ研究所(茂原)始動(2023年)



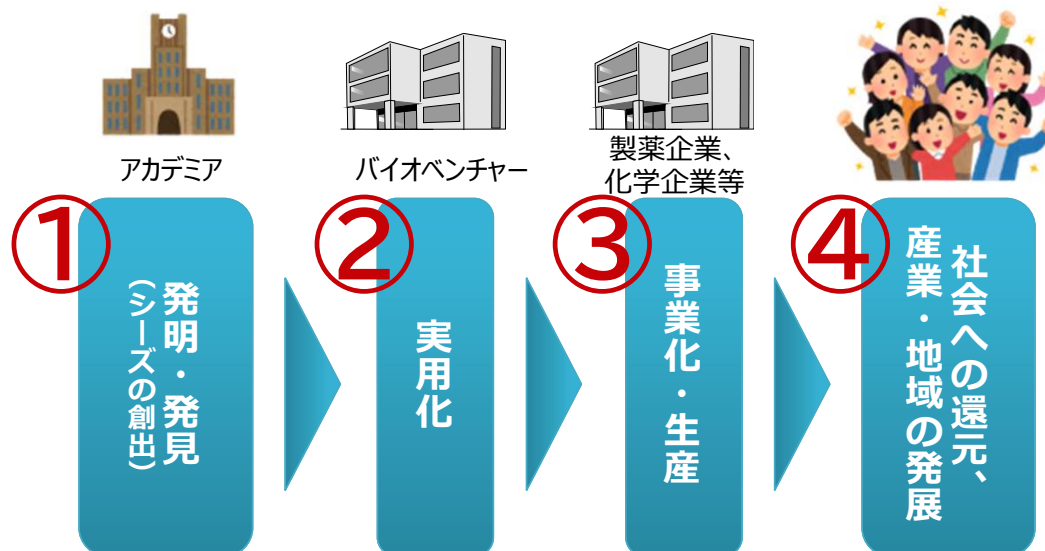
NITE バイオものづくり関連企業への支援(NITE施設見学会)(2024年)



かずさDNA研究所・千葉大学 バイオ関連研究や社会実装の取組の推進

【注1】 これら以外に、新宿・信濃町、早稲田、築地・台場、所沢、和光などにも萌芽がみられる
【注2】 今後各拠点の発展に伴い、統合・再編成の可能性はある

- ① 研究開発
- ② ベンチャー支援
- ③ 生産設備
- ④ 民間投資



緑色の文字： 前回調査(2024年6月)からの変更箇所

① 研究開発

57 国プロジェクト

総額 最大約3,250億円／10年(2021-2030)

② ベンチャー支援

国の支援

推定約1,750億円／7年(2023-2030)

③ 生産設備

20製造拠点・本社機能

国の補助金 約2,300億円

④ 民間投資

総額 > 約9,200億円／約4年
(2021-2025)

計1.6兆円の投資

国の投資

約**7,300**億円

- ① 研究開発 3,250
- ② ベンチャー支援 1,750
- ③ 設備投資 2,300

民間の投資

約**9,200**億円



(参考) 他の都市圏・国との比較

● マサチューセッツ州
VC投資: 1兆1950億円 (78.9億ドル、2024年) 1\$=151.45円

● 英国
VC投資: 6,800億円 (35億ポンド、2024年) 1ポンド=194円

出典:
1) MassBio 2024 BIOPHARMA FUNDING REPORT

①-1 研究開発 国プロジェクト

57プロジェクト

推定約3,250億円/10年(2021-2030)



(2025.6月末現在)

1. つくばエリア (3)

- AMED 医工連携イノベーション推進事業:つくばグローバル・イノベーション推進機構 (TGI) 等
- JST 共創の場形成支援プログラム/バイオ分野・本格型「つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点」:筑波大学 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「バイオものづくり技術による CO2 を原料とした高付加価値化学品の製品化」:積水化学工業

2. 柏の葉エリア (4)

- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「革新的次世代核酸医薬」:東京理科大学
- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「葉酸結合型カチオン性ペプチドとsiRNAを用いた革新的次世代核酸医薬品の研究開発」:東京理科大学
- 文部科学省 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業:千葉大学 等
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:J-TEC、国立がん研究センター、帝人、三井不動産

3. HOTS HILL (8)

- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:フラッグシップ拠点:東京大学
- AMED 医工連携イノベーション推進事業「左心負荷を伴わず中枢側の酸素化も可能にする低侵襲ECMOの創出に関する開発・事業化」: TCNプライム
- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「スマートシェルを具備した標的型核酸医薬送達システムの開発」: 東京科学大学
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「世界の気候変動を生き抜く「シン・緑の革命」」: アクプランタ (文京区湯島)
- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「「ビヨンド・ゼロカーボン」を目指す「Co-JUNKAN」プラットフォーム」研究拠点」: 東京大学 等
- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「災害など危機的状況でもヒト・モノ・ココロがつながる健康医療共創拠点」:順天堂大学
- NEDO バイオものづくり革命推進事業 藤森工業
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:東京医科歯科大 等

4. 日本橋エリア (1)

- AMED 医工連携イノベーション推進事業「DMD 特徴量をベースとした前額部脳波解析技術とバッチ式脳波計を用いたてんかん診断補助SaMD 開発」: PGV



①-2 研究開発 国プロジェクト

57プロジェクト

推定約3,250億円/10年(2021-2030)



(2025.6月末現在)

5. 川崎エリア (6)

- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:サポート機関:実中研
- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「革新的リガンド化マルチターゲットsiRNAとナノマシン複合体を用いた効果的な腫瘍ターゲティングによる世界初がん根治技術開発」: 川崎市産業振興財団 (ナノ医療イノベーションセンター)
- JST共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」:川崎市産業振興財団 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「光合成による CO2直接利用を基盤とした日本発グローバル産業構築」:ちとせ研
- NEDO バイオものづくり革命推進事業「下水汚泥等高含有有機廃棄物を資源化する炭素/窒素循環社会システム実証」ちとせ研
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:藤田医科大学 (東京都大田区)、慶應義塾大学、実験動物中央研究所、(一社)RINK等

6. 横浜エリア (1)

- JST共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現する共創拠点」:横浜市大

7. 湘南エリア (2)

- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「バイオ技術(フードテック)の実証を通じた新しい食品・飼料の開発・実証」,「CuINet 上清を活用した細胞性食品の生産システムの実証」: インテグリカルチャー (藤沢市)
- JST共創の場形成支援プログラム/地域共創分野(育成型)「“健歩快働”をまちごと科学するイノベティブ新湘南共創拠点」: 横国大(R6年度終了)

8. 千葉・かずさエリア (3)

- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:シナジー拠点:千葉大学
- NEDO バイオファウンドリ「生産実証プラットフォーム」:GEI
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「CO2固定微生物利活用プラットフォームの構築」:NITE



①-3 研究開発 国プロジェクト

57プロジェクト

推定約3,250億円/10年(2021-2030)



(2025.6月末現在)

その他 東京国 (29)

- AMED 医工連携イノベーション推進事業「片頭痛を対象とした患者・医師向けアプリの開発・事業化」: ヘッジホッグ・メドテック(文京区後楽)
- AMED 医工連携イノベーション推進事業「独自開発した自己組織化する新素材を応用する心臓外科用弁付き導管の事業化」: 帝人(千代田区霞が関)
- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「肝臓以外への核酸DDS技術開発者に対する伴走・マネジメント支援」: シード・プランニング(文京区湯島)
- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「吸入ハイブリッドEVを用いた非環状型人工核酸送達による肺癌治療法の確立」: 東京慈恵会医科大学(港区西新橋)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「自律走行型ロボットを活用した農業散布サービスの広域実証」: レグミン(埼玉県深谷市)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「自省人化・省資源化を実現するスマートインパクト植物工場の開発」: プランテックス(中央区京橋)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「自動収穫ロボットビジネスを創出するための設計の汎化と圃場環境の最適化」: inaho(神奈川県鎌倉市)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「AIトレーナー搭載DX豚舎を用いた肥育豚統合管理システムの実証」: Eco-Pork(墨田区横川)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「革新的な鮮度保持技術を用いた農林水産物・食品輸出網の構築および効果実証事業」: ZERO CO(渋谷区神宮前)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「食品産業における食品ハンドリング技術の革新と社会実装」: コネクテッドロボティクス(小金井市)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「日本の技術を活かした「植物性卵」の商用確立とグローバル展開」: UMAMI UNITED JAPAN(渋谷区道玄坂)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「CO2を原料としたタンパク質素原料の製造」: CO2資源化研究所(江東区青海)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「C革新的乾燥技術「過熱蒸煎機」による、りんご搾汁残渣を活用した新たなエコフィード飼料の開発と経済合理性の確立」: ASTRA FOOD PLAN(埼玉県富士見市)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「森林由来の新素材「改質リグニン」及びその樹脂組成物の大規模製造に向けた技術実証」: 木質素研究所(千代田区外神田)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「玄米粉を高配合した完全栄養パンの開発による国産米粉原料の新規需要創出」: ベースフード(目黒区中目黒)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「穀物のマイナス温度下における乾式超微粉砕方の製造技術の実証」: フィット&リカバリー(港区新橋)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「調理/盛付/食器仕分け業務の自動化とアプリによるメニューパーソナライズ、AIを活用した厨房オペレーション最適化を通じた次世代スマート食堂の社会実装」: TechMagic(江東区青海)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「お米生まれ麹育ちの機能性マイコプロテインの商用確立」: Agro Ludens(千代田区有楽町)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「未利用バイオマス発酵技術を活用したアップサイクルグリーンフード素材の量産実証」: ファーメンステーション(千葉県船橋市)
- JATAFF 中小企業イノベーション創出推進事業「リアルな肉に近似な次世代食品の実現に向けた実装化計画」: ディーツフードプランニング(渋谷区恵比寿西)
- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルス commons 共創拠点」: 慶応義塾大学(新宿区)等
- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「カーボンネガティブの限界に挑戦する炭素耕作拠点」: 東京農工大(小金井市)等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「水素細菌による CO2 と H2 を原料とする革新的なものづくり技術の開発」: 双日(千代田区)
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「CO2 を原料に物質生産できる微生物による製造技術等の開発・実証」: 富士フイルム(神奈川県)
- NEDO バイオものづくり革命推進事業「木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業」: JGC(神奈川県横浜市)、OJI(江東区)、TORAY(中央区)
- NEDO バイオものづくり革命推進事業「純国産木材バイオリファイナリーによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」: GEI(新宿区)、日本製紙グループ(千代田区)
- NEDO バイオものづくり革命推進事業「第2世代バイオエタノール製造技術とバイオエタノール由来製品技術の開発」: エネオス(千代田区)
- NEDO バイオものづくり革命推進事業「余剰汚泥を使った従属栄養性藻類の培養とバイオディーゼル系脂肪酸原油生産の実証事業」: ANA(港区)、フィコケミー(茨城県石岡市)
- NEDO バイオものづくり革命推進事業「環境保護と食品供給の安定化を実現する精密発酵技術の開発」: 味の素(中央区)

②-1 ベンチャー支援 創薬ベンチャーエコシステム強化事業 認定VC



(2025.6月末現在)

3. HOTS HILL

- 株式会社ファストトラックイニシアティブ
- DCIパートナーズ株式会社
- 東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
- 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

4. 日本橋エリア

- Remiges Ventures, Inc.
- Newton Biocapital Partners
- 三菱UFJキャピタル株式会社
- Beyond Next Ventures株式会社
- DBJキャピタル株式会社

その他 東京圏

- Catalys Pacific, LLC (港区)
- D3合同会社(D3LLC) (渋谷区)
- Eight Roads Capital Advisors Hong Kong Limited (港区)
- Saisei Ventures LLC (品川区)
- JICベンチャー・グロース・インベストメンツ (港区)
- ジャフコグループ株式会社 (港区)
- ANV Management, LLC
- ANRI株式会社(渋谷区)
- 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ(港区)
- 大鵬イノベーションズ合同会社(港区)

国の支援(認定VC+創業ベンチャー)

推定約**1,750**億円/7年(2023-2030)

(支援総額は約3,500億円 × 東京圏には全国の半数の関連ベンチャーが所在)

*認定VC30のうち、19社が東京圏に拠点を有する



②-2 ベンチャー支援 創薬ベンチャーエコシステム強化事業 創薬ベンチャー公募



(2025.6月末現在)

2. 柏の葉エリア (1)

- 重篤な遺伝子疾患に対する、mRNAを使用したGene Writingによる遺伝子治療パイプラインの開発: **タイプライターTX合同会社**

3. HOTS HILL (3)

- 小児希少血液疾患に対する新規ex vivo増幅造血幹細胞治療製品の開発: **セレイドセラピューティクス株式会社**
- 免疫療法抵抗性固形がんのための腫瘍組織特異的pH応答性IL-12 内包高分子ミセルの開発: **Red Arrow Therapeutics株式会社**
- 膀胱癌、肺癌、胃癌、大腸癌を含むミナル癌に対する治療を目的としたファーストインクラス経口型低分子薬の研究開発: **CORE Biomedicine Japan合同会社**

4. 日本橋エリア (7)

- 視覚再生遺伝子治療薬のグローバル第2相臨床試験におけるPOC取得: **株式会社レストアビジョン**
- KATPチャネル阻害作用を有する低分子アルツハイマー型認知症治療薬NTX-083の開発: **Neusignal Therapeutics株式会社**
- 腫瘍内のM2様マクロファージに選択的なナノ粒子ドラッグデリバリーシステムに搭載したTLR刺激薬による新規がん免疫療法の開発: **ユニテッド・イムニティ株式会社**
- GD2陽性の難治性固形癌に対するGITRLを組み込んだ自家由来の新規CAR-T細胞療法の研究開発: **ティーセルヌーヴォー株式会社**
- 神経変性疾患の治療を目的とした新規遺伝子治療薬の開発: **reverSASP Therapeutics株式会社**
- 固形がんを高発現するGPCRを標的とした抗体・薬物複合体(ADC)による新規がん治療薬の開発: **リベロセラ株式会社**
- CD19/CD20陽性の再発・難治性B細胞リンパ腫に対する二重特異性他家CAR-T細胞療法の臨床開発: **AvenCell Japan株式会社**

6. 横浜エリア (2)

- 低活動膀胱を対象とした低分子医薬品SFG-02の開発: **Juro Sciences株式会社**

7. 湘南エリア (2)

- ヒトiPS細胞由来心筋細胞製剤OZTx-556の重症心不全患者を対象としたグローバル治験によるProof of Concept (PoC) 検証: **オリヅルセラピューティクス株式会社**
- 低分子化合物GXV-001の脆弱X症候群を対象としたグローバル臨床第2a相POC試験: **株式会社ジェクスヴァル**

その他 東京圏 (5)

- pDCのTLR9を標的としたアジュバントと新規抗原を用いたRSVワクチンの開発: **株式会社 Immunohelix** (小金井市)
- iPS細胞由来角膜内皮代替細胞(CLS001)のグローバル開発とP1/P2臨床試験: **株式会社セルージュ** (中央区晴海)
- ヒト脂肪細胞由来血小板様細胞(ASCL-PLC)の難治皮膚潰瘍治療に対する他家(同種)再生医療等製品としての開発: **株式会社AdipoSeeds** (港区)
- 新規経口脂質代謝制御剤PRD001の脂質代謝異常症に対するPOC取得: **PRD Therapeutics株式会社** (港区)
- 新規メカニズムを用いたフェロトシス誘導性抗がん剤の開発: **株式会社FerroptoCure** (千代田区)
- 多発性硬化症に対する新規LAT1阻害剤の開発: **ジェイファーマ株式会社**

国の支援(認定VC+創薬ベンチャー)

推定約**1,750**億円/7年(2023-2030)

(支援総額は約3,500億円 × 東京圏には全国の半数の関連ベンチャーが所在)

*34課題のうち、20課題が東京圏に拠点を有する創薬ベンチャーにて実施



③ 生産設備

国の補助金 約2,300億円

(2025.6月末現在)

2. 柏の葉エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) Arcalis

3. HOTS HILL

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) VLPセラピューティクス ジャパン
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) 藤森工業

4. 日本橋エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) MeijiSeikaファルマ
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) 富士フイルム富山化学
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(東京事業所): タカラバイオ

5. 川崎エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
ちとせ研究所

6. 横浜エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
業: AGC

7. 湘南エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン

その他 東京都

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
第一三共, 第一三共バイオテック (北本市)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) 藤倉コンボジット (江東区)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
(本社) ロキテクノ (品川区)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
武州製薬 (埼玉県)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
極東製薬工業 (茨城県)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
佐竹マルチミクス (埼玉県)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:
富士フイルム (神奈川県)

8. 千葉・かずさエリア

- NEDO バイオファウンドリ「生産実証プラットフォーム」: GEI
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業: ヤマサ
醤油 (銚子市)
- NEDO GI基金「バイオエタノール由来のSAF (持続可能な航空燃料)
製造実証設備の開発と展開」: 出光興産

*40 認定 バイオ医薬品製造拠点のうち、
20が東京圏に製造拠点・本社機能を有する



④ 民間投資 トピックス (2021.4~2025.6) 総額 > 約9,200億円 / 約4年

1. つくばエリア

1. エーザイが筑波研究所デザイン改修 (85億円)
2. フロロジスが西部工業団地敷地内にインキュベーション施設を併設した物流施設を建設 (金額非開示)
3. 日清食品が製造工場用地取得 (130億円)
4. トクヤマがつくば第二研究所を開設 (金額非開示)
5. 日立ハイテク、エフ・エル・バイオ・テクノロジーが医用分析装置の開発・製造を立地 (金額非開示)
6. 常陽銀行、JCP、TCIと共同で、「つくばエクシード 2号ファンド」を組成 (総額 10 億円)
7. ノクターンキャピタルがつくば拠点シードVCとして設立 (金額非開示)
8. トーヤクが農薬等製造工場用地取得 (6.7億円)
9. 積水化学工業が高付加価値化学品の製品化実証施設を設置 (事業費133億円)

> 401億円

2. 柏の葉エリア

1. 帝人が再生医療等製品のCDMOを設置 (金額非開示)
2. アステラスが癌微小環境オープンイノベーション拠点開設 (金額非開示)
3. H.U.グループ中央研究所がオープンイノベーション拠点開設 (金額非開示)
4. 三井不動産が三井リンクラボ柏の葉1、病院連携ホテル、三井リンクラボ柏の葉2、ハードテックラボを建設 (金額非開示)
5. SMCが柏の葉キャンパス新技術センターを新設 (金額非開示)

> 300億円

3. HOTS HILL

1. Green Earth Institute、サイフーズがIPO (239億円)
2. オリシロジェノミクスがモデルナにM&A (\$85M)
3. トクヤマがMBLとJSRライフサイエンスの診断関連事業を買収 (820億円)
4. 産学間協定：東京大学とクボタ (10年間で100億円)、JR東日本、キヤノン／キヤノンメディカルシステムズ、モデルナ、東京科学大学と地域ヘルスケア連携基盤、スギ薬局、栄研化学 (金額非開示)

> 1271億円

4. 日本橋エリア

1. 三井不動産が三井リンクラボ新木場 1・2・3、三井リンクラボ東陽町1を建設 (金額非開示)
2. Repertoire GenesisをユーロフィンがM&A (金額非開示)
3. Bolt MedicalをメディキットがM&A (金額非開示)
4. ペルセウスプロテオミクス、レナサイエンス、サスメド、クオリプスがIPO (計595億円)
5. 資金調達 (5億円以上) 45社 (885億円)

> 1,912億円

5. 川崎エリア

1. ペプチドリームがキングスカイフロント内に研究所を新設予定 (195億円)
2. 島津製作所がキングスカイフロントに「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza」を開設 (20億円)
3. 藤田医科大学がHICityに「藤田医科大学東京先端医療研究センター」を開設 (金額非開示)
4. 東亜合成がキングスカイフロントに研究所を開設 (金額非開示)

> 215億円

6. 横浜エリア

1. 中外製薬が研究所を新設 (1,700億円)
2. ユニバレオが研究所を新設 (119億円)
3. レゾナックが研究所を新設 (64億円)
4. フープパートナーズが賃貸ラボを新設 (総額15億円、内R&D関連額2.2億円)
5. AGCがAGC横浜テクニカルセンターにバイオ医薬品製造設備導入予定 (500億円)
6. (仮称) 三井リンクラボ関内 (BASEGATE 横浜関内内) を新設 (金額非開示)

> 2,398億円

7. 湘南エリア

1. 高砂香料工業が旧中外製薬鎌倉研究所跡地を取得 (金額非開示)
2. Fimecs, Reborna Biosciences, Orizuru Therapeutics, GexVal, SEEDSUPPLY, GenAhead Bioが資金調達 (\$41.9M+65億円)
3. Noile-Immune BiotechがIPO (220億円)
4. ケイファーマがIPO (100億円)
5. Chordia TherapeuticsがIPO (160億円)
6. PRISM BioLabがIPO (170億円)
7. Cardurion Pharmaceuticalsが資金調達 (\$260M)
8. Shinobi Therapeuticsが資金調達 (\$119M)
9. スコヒアファーマが資金調達 (5.6億円)
10. ラクオリア創薬が資金調達 (10.1億円)

> 1,440億円

8. 千葉・かずさエリア

1. 千葉大発スタートアップが資金調達 (複数の合算) (168億円)
2. Green Earth Instituteが「サテライト研究所」稼働 (金額非開示)、「バイオファンドリー研究所」建設 (金額非開示)
3. 出光興産がバイオ由来原料によるSAF製造装置を建設予定 (457億円)
4. 出光興産が統合研究所「イノベーションセンター (仮称)」を建設予定 (500億円)

> 1,125億円

その他 東京圏

- 日本凍結乾燥研究所が埼玉県鶴ヶ島市に体外診断用医薬品製造開発拠点の立地決定 (金額非開示)
- 東ソーが神奈川県綾瀬市に研究所を新設予定 (72億円)
- 中外製薬が東京都北区に原薬製造棟を新設予定 (121億円)

> 193億円



・(注) 現状、多様な投資を記載しています
・2022年平均為替で換算 \$1=¥131.52

② インキュベーション(ハード) インキュベーション施設 (2025.6現在)

総面積 約886,000 m²

1. つくばエリア 17,683 m²

1. (株)つくば研究支援センター(TCI) 11,200
2. つくば創業プラザ Start Up Office 265
3. つくばスタートアップパーク 1,852
4. Astellas SakuLab-Tsukuba 916
5. X/S (イクシーズ) ワークサイト 3,450

2. 柏の葉エリア 50,201 m²

1. 東葛テクノプラザ 11,881
2. 東大柏ベンチャープラザ 2,856
3. 東大柏IIアントレプレナーハブ(産学官民連携棟) 1,825
4. 三井リンクラボ柏の葉1, 10,978
5. 柏の葉オープンイノベーションラボ (KOIL) 9,794
6. KOIL TERRACE 11,715
7. 千葉大学Biohealth open Innovation Hub 1,152

3. HOTS HILL 10,717 m²

1. tip 832
2. 東京大学アントレプレナーラボ 3,816
3. 東京大学アントレプレナープラザ 3,642
4. 東大前 HIRAKU GATE 2,246
5. tip-RCCシェアラボ 181

4. 日本橋エリア 84,230 m²

1. 日本橋ライフサイエンスビルシリーズ(12施設) 18,730
2. 三井リンクラボ新木場1、2、3 約43,300
3. 三井リンクラボ葛西 約2,200
4. 三井リンクラボ東陽町1 約20,000 (2026年夏竣工予定)

5. 川崎エリア 77,458 m²

1. ライフイノベーションセンター (LIC) 16,105
2. 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 2,000
3. 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター(iCONM) 335
4. Research Gate Building III (RGBIII) 10,000
5. かわさき新産業創造センター (KBIC) 34,959
6. かながわサイエンスパーク(KSP, Biotech Lab, Think) 13,494
7. Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC) 565

6. 横浜エリア 322,389 m²

1. 横浜バイオ産業センター (YBIC) 6,000
2. 横浜新技術創造館 (リーディングベンチャープラザ) 5,552
3. 横浜市産学共同研究センター 8,363
4. ライフサイエンス研究センター 4,571
5. 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア 6,259
6. Science Tokyo横浜ベンチャープラザ (YVP) 2,795
7. ジャーマンインダストリーパーク 14,621
8. 横浜ビジネスパーク (YBP) 162,221
9. 澁澤ABCビル2号館 3,898
10. AQUARIA TOWER YOKOHAMA 50,304
11. GRC横浜ベイリサーチパーク 50,464
12. GRC横浜サイエンスキューブ(現: YOTSUBAKO) 7,341

7. 湘南エリア 300,000 m²

1. 湘南ヘルスイノベーションパーク 300,000

8. 千葉・かずさ 5,721 m²

1. かずさインキュベーションセンター 1,449
2. 千葉大学亥鼻イノベーションプラザ 2,735
3. 千葉大学知識集約型共同研究拠点 1,537

その他 東京圏 18,076 m²

1. 和光理研インキュベーションプラザ 2,608
2. 早稲田大学アントレプレナーシップセンター 778
3. 農工大・多摩小金井ベンチャーポート 1,650
4. ベンチャープラザ船橋 2,412
5. さがみはら産業創造センター 2,623
6. 慶應藤沢イノベーションビレッジ 1,470
7. 東京起業推進センターCross Point飯田橋 3,649
8. 東京起業推進センターCross Point市ヶ谷I 1,703
9. 東京起業推進センターCross Point市ヶ谷II 347
10. ラムラ飯田橋 227
11. 神楽坂コート 131
12. 東京理科大学神楽坂キャンパス10号館 478
13. 慶應義塾大学 信濃町リサーチ&インキュベーションセンター (CRIK信濃町) 2,322



② インキュベーション(ソフト) アクセラレーション活動 (2025.6現在)

1. つくばエリア

筑波大学：①Research Studio（メンタリングと専門家による伴走。StanfordやUCSDと連携）
②医療系スタートアップ支援拠点（最大3億円の公的ギャップファンドと伴走支援）

TGI：①技術・連携相談のワンストップ窓口（TTC）②スタートアップ創業支援（ノクターンキャピタルとジョイントで大学、国研等発スタートアップ創業支援）

TLSK：①ピッチ会等（新規産学協働プロジェクトの発掘）②若手交流会
つくば市：つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム（国内外から人材・資金・企業等獲得）

TCI：①創業支援（情報提供、創業について短期スクール）、②資金調達支援（VC向けピッチ会、補助金助成金の獲得支援）、③イノベーションマッチング（大企業・VCとのマッチング）

2. 柏の葉エリア

NCC・UTECH・Beyond Next Ventures：
NCC Venture Incubation Program（臨床開発・事業開発・薬事・経営に関するコンサルテーション）

NCC・TexasMedicalCenter等：NCC Seed Acceleration Program（AMED大学発医療系スタートアップ支援プログラム採択）

NCCE NEXT医療機器開発センター：メドテックスタートアップ支援等の各種取り組み

三井不動産・柏市・TXアントレプレナーパートナーズ：KOILスタートアッププログラム（ビジネスプラン作成セミナー等）

千葉大学バイオイノベーションハブ(BIH)：スタートアップ支援プログラム等

革新的がん治療に繋がる研究シーズ・技術シーズピッチコンテスト：アステラス製薬・LINKJが研究助成と研究開発メンター

3. HOTS HILL

tip：①Innovation Idea Contest（シーズを新時代の医療・健康に繋げるアイデアコンテスト）

②2024年AMED「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」への採択

東京大学：①FoundX（アイデアから資金調達まで起業の初期を様々なプログラムと個室提供でサポート）②東京大学バイオデザイン（プロジェクトベースでニーズの探索から事業化まで一貫通貫的教育プログラム）

東大IPC：1stRound（資金およびハンズオン支援、海外アクセラレーションへの連携）

Beyond Next Ventures：BRAVE（人材マッチングを通じた創業チームの強化と、起業家・投資家によるメンタリングを通じて資金獲得の支援）

PLUG and PLAY JAPAN：Plug and Playプログラム（SUの顧客獲得、資金調達、協業支援等）

4. 日本橋エリア

FIRM：ベンチャー創設支援フォーラム（ニーズに基づくトレンド、技術情報等の提供）、ベンチャーブースター（VCとのパートナーシップの場を提供）

Beyond Next Ventures：BRAVE（実用化を目指す研究開発型スタートアップに特化したアクセラレーションプログラム）

AN Venture Event：S2S Japan（招待制のシンポジウムで投資家、製薬会社、起業家、研究者、大学関係者等に対しプレゼンを行うプログラム）

国立がん研究センター：センター発ベンチャー認定制度（シーズ開発の支援）

LINK-J：Out of Box 相談室（製薬企業、ベンチャーキャピタル、コンサルタントなどとの実用化に向けた相談）、**UNIKORN**（スタートアップの欧州進出支援）

5. 川崎エリア

K-NIC：①起業・事業相談（経営、マーケティング、雇用、知財などの相談会）、②ビジネスマッチング（VCによるリバースピッチやメンターによる事業会社、金融機関とのマッチング）、③成長支援プログラムの提供

川崎市：Kawasaki Deep Tech

Acceleratorによるベンチャー企業成長支援

iCOMN：iCOMN in collaboration with BioLabs（米国BioLabs社と連携してスタートアップの成長支援）

キングスカイフロント：殿町コネクト（川崎市産業振興財団による支援）

RINK：殿町を拠点とした再生・細胞医療等のネットワーク（バリューチェーンの構築・事業支援）

かながわサイエンスパーク（KSP）：①ビジネスイノベーションスクールによるビジネスプラン作成支援、②投資ファンド機能、ビジネスマッチング

6. 横浜エリア

木原財団：①BIBLIOを通じた研究開発シーズの事業化支援、②研究開発等の助成事業の推進、③BioJapan2025出展支援

TECH HUB YOKOHAMA：テック系拠点として、コミュニティマネージャーが常駐し、人材や企業をつなげ、新たなビジネス機会を創ります。また、各イベントプログラムや、スポット相談窓口、伴走支援プログラム、ラボ付きオフィスとの連携等を実施。

東京科学大学：①イノベーションデザイン機構による支援【1. GTIE との連携、2. 研究による地域連携】、②アントレプレナーシップ教育機構（教育改革を進化させ、専門×教養×理工系アントレプレナーシップの全学教育を実施）、③BRAVE（東工大とBeyond Next Ventureによる起業家支援の取組）、④超スマート社会推進コンソーシアム（Society 5.0の実現を推進する、新たな次世代型社会連携教育研究プラットフォーム）

7. 湘南エリア

湘南アイパーク：①iPark SAMURAI（法務、経理、知財、事業開発など幅広い分野での相談）、②Science Mentor（メンターによるベンチャー企業等へのアドバイス制度）、③Incubation Program（事業化のための資金、設備、ノウハウ、機会を提供する制度）、④韓国との連携（相互協力覚書や社員相互派遣）、⑤産学連携シーズマッチングコンソーシアム「iNexS」設立、⑥海外VCと有望スタートアップマッチングイベント「SHIC」の実施

8. 千葉・かずさエリア

千葉県：①革新的ベンチャー企業成長促進プログラム事業（パートナー企業や投資家の紹介などの短期伴走支援）、②ちば起業家応援事業（ビジネスコンテスト、交流会等の起業支援）、③スタートアップ総合支援拠点事業（セミナー・交流会開催等）

千葉大学：①産学連携ジェトロデスク（海外展開支援）、②スタートアップ・ラボ（起業支援）、③アントレプレナーシップセンター（起業家教育プログラム）

NITE：①DBRP（生物資源データプラットフォーム；微生物情報の提供、マッチング支援）、②カルタヘナ法相談窓口（鉱工業分野の第二種使用に関する相談対応）、③チームNITE（標準化・適合性評価制度構築支援）、④GIフォーラム（CO2を直接原料としたバイオものづくり支援）、⑤GTB千葉・かずさホワイトバイオネットワーク（ホワイトバイオ分野の産学官連携の推進）



GTB圏での民間投資額等の3年間の変化 (2025.6現在)

